

1月大天体ショーが始まる

プラネ新聞

発行所 岐阜市科学館
〒500-8389
岐阜市本荘3456-41
TEL: 058-272-1333
FAX: 058-272-1303



それにしてはウルフムーンって一体何のことなのでしょうね。実はこれ、アメリカの先住民の風習からきている月の呼び名です。厳しい冬に食料が不足しお腹をすかせたり、またそのころがオオカミの繁殖期にあたり、よくオオカミの遠吠えが聞こえてきます。このことから1月の満月のことをウルフムーンと名付けたと言われています。ちなみに皆既月食がウルフムーンの時に起きると「スーパードッドウルフムーン」と

来る1月29日、いよいよ大天体ショーの始まりです。ウルフムーンがやって来るのです。年に一回しか見られないこのウルフムーン。絶対に見逃さないように。貴重です。皆さんは知っていましたか。直訳すると「オオカミ月」ですね。月に向かってオオカミが遠吠えをするイメージでしょうか。

月に向かってオオカミが？
ウルフムーンってなんだって 注目!!

「星空タイム」

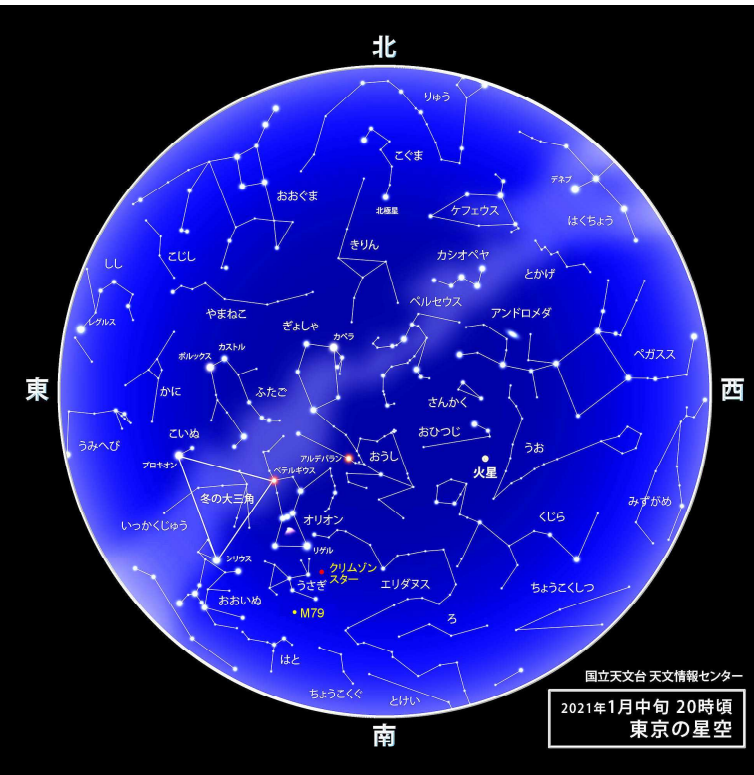
プラネ人気番組の紹介

いよいよ番組紹介のラスボス的存在「星空タイム」の紹介です。放映者はこの日のために腕によりをかけて（料理みたいですね）、持っている解説力の全てを出し切って放映する1時間フル生解説の伝統ある番組です。ちなみに1月は前半が冬の星座を中心に話が進み、後半は春の星座を交えての解説となります。毎週金曜日の2時30分より放映されています。お楽しみに。

さあ、1月29日ウルフムーン大天体ショーをお楽しみに！

いう名で呼ばれています。「特別な月のオオカミ月」と訳すのでしょうか。アメリカではこのスーパードッドウルフムーンは2019年1月21日に観測されたそうです。ちなみに2月はスノームーンです。北アメリカでは2月は寒さが厳しく雪が多いため、そう呼ばれています。3月はワームムーンで、農業をするとき、地中から虫が這い出てくることからそう付けられたようです。非常にアメリカらしいといえますか、現象で毎月の満月の呼び方を決めていたようです。

日本では、毎月の満月の呼び方は決まってはいませんが、そのかわりという訳ではありませんが、中秋の名月の後には、月の満ち欠けに応じて立待月、居待月、寝待月などなかなか風流な日本らしい呼び方がありますね。



「おひげ座」レポート！

今回はなかなか目立たない星座にスポットをあててみました。その星座とはズバリ「うさぎ座」です。その位置はオリオン座の足下ですが、オリオン座が目立ちすぎてつい見過ごされてしまいがちな星座です。探し方は、リゲルのすぐ南側にV字に並んだ星があります。それがウサギの耳にあたり、3等星と4等星からなるアーツのような星の並びが体になります。すぐ東には全天一明るいシリウスがありますからそれをたよりに探しても良いかと思います。

さて、このうさぎ、オリオンにいじめられています。オリオンが気性が荒いと言つこと、神様が優しい心で癒やしを与えようとうさぎを足下に置いたのですが、なんと、オリオンに踏みつぶされてしまうのです。そんなうさぎ座ですが、この星座の中には、クリムゾン・スターといってエリダヌス座の境界近くに位置している変光星があります。ミラ型で47日周期で5等星から11等星まで偏光します。深い紅色が「暗黒の中に落ちた血のしずくのよう」とも言われ、印象的です。またその足下にはM79球状星団が位置しています。1780年、メシヤンにより発見され、その後ハーシェルにより球状星団と確認されました。メシエ天体唯一、冬に観測される球状星団です。結構話題豊富なうさぎ座だったんですね。